

“誰もが生涯安心して生活でき、
心豊かな 瑞穂^{さと}の郷づくり”

☆ 瑞 穂 地 区 ☆

地 域 ま ち づ く り 計 画



瑞穂まちづくり協議会

目 次

第1章	はじめに	
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ・期間	1
第2章	瑞穂地区の概要とまちづくりの主要課題	
1	地区の概要	2
2	地域住民の意向	4
	☆住民まちづくりアンケート調査結果	5
	★地区別まちづくり座談会開催結果	15
3	各区・自治会の現状	18
4	各種団体（地域活動団体の現状）	19
5	瑞穂地区の主な課題	20
6	香取市総合計画	22
第3章	瑞穂まちづくり協議会が目指すまちづくり	
1	まちづくりの全体テーマ（将来像）	23
2	将来像実現のための基本理念	24
第4章	将来像実現に向けた施策	
1	活動目標及び基本施策	25
2	推進体制	36
3	地域まちづくり計画実践の流れ（イメージ）	37
	むすびに	38
	☆ 資 料 編 ☆	
1	地域まちづくり計画策定経過	1
2	地域まちづくり計画策定委員会設置要綱	2
3	部会別等ワークショップ関係資料	9
4	住民アンケート調査関係資料	19
5	住民アンケート調査 自由意見	25

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

香取市においては、高齢者の割合が平成37年には4割を超えると予測され、さらに世帯構造も単身世帯や小世帯の割合が増加し、核家族化が進行していくことが考えられます。

瑞穂地区においても例外ではなく、少子高齢化や人口減少が進み、世帯構造が変化する中で、地域コミュニティの再生を図ることが喫緊の課題となっています。

また、東日本大震災のような想定外の災害を乗り越えるためには、日頃の訓練や備えはもちろんのこと、人と人とのつながり“絆”が大切であり、みんなが声をかけ合い、力を寄せ合い、人を気づかいながら、みんなで助け合う“地域の絆”をつくりあげることがこれからのまちづくりにとって一番大切なことです。

瑞穂地区地域まちづくり計画は、こうした地域が抱える課題を自分たちで克服し、子どもから高齢者までのすべての方が、将来に向けて安心して生き生きと暮らすことができ、そして、「瑞穂に住んでよかった」と思えるようなまちづくりを進めるために、瑞穂地区の将来像を共有し、地域一丸となって取り組む活動方針等を定めたもので、瑞穂地区におけるまちづくり活動の基本となるものです。

2 計画の位置づけ・期間

この計画は、概ね10年間の活動像を描くものですが、社会情勢の変化も踏まえ、随時見直しを行っていくものとします。

また、本計画に掲げる施策（活動）等の実践については、活動体制や取り組むことのできる環境が整ってきたものから順次取り組んでいくこととし、実際に協議会の活動にご協力いただく住民の皆さんの負担とならないよう、無理のない範囲で、できる活動から始め、徐々に活動の多様化を図っていくこととします。

第2章 瑞穂地区の概要とまちづくりの主要課題

1 地区の概要

(1) 沿革

瑞穂地区は、明治22年の町村施行により、瑞穂村が単独村制を施行し誕生した旧香取郡瑞穂村に由来し、その後、昭和30年に佐原市に編入され、さらに平成18年の合併(平成の大合併)により香取市となりました。

昭和50年代前半までは、稲作中心の農村地帯でありましたが、昭和57年、みずほニュータウン(みずほ台の宅地分譲が始まり、平成元年ごろから急速に住宅の建築が進み、地区内の人口も大幅に増加しました。

現在は、堀之内区、谷中区、寺内区、寺内芝自治会、鴫崎区、西和田区、西坂区、西部田区、みずほ台自治会の7区2自治会で構成されています。

(2) 地 勢

瑞穂地区は、香取市内で最も西端に位置し、東は東大戸地区、西は香取郡神崎町と隣接し、利根川と大須賀川に面する低地と下総台地の谷津地に広がる、豊かな自然が息づく地域です。

(3) 交 通

地区内を国道356号線や市道が走り、JR佐原駅までは車で約15分、JR下総神崎駅までは車で約10分の距離にあります。

公共交通機関としては、JR佐原駅や公共施設、医療機関などを結ぶ佐原循環バス(大戸・瑞穂ルート：毎週月曜日から金曜日の週5日で運行)があります。

(4) 地域資源(歴史・文化・自然)

地区内の指定文化財として、千葉県指定文化財の西坂神社本殿(西坂)梅林寺(西和田)の木造観音菩薩坐像、並びに香取市指定文化財の鴫崎貝塚(鴫崎)、光福寺(寺内)の木造釈迦如来同脇侍像及び寺宝類があり、歴史と文化の薫る地区です。

また、豊かな自然に育まれた『瑞穂音頭』や『瑞穂郷土史』があります。

(6) 人口統計データ

地区名	平成13年			平成23年			最近10年間の人口増減率
	人口	世帯数	高齢化率	人口	世帯数	高齢化率	
堀之内	538	148	26.0%	474	160	35.0%	▲ 11.9%
谷中	675	209	21.0%	591	204	26.7%	▲ 12.4%
寺内	344	91	20.6%	323	102	21.4%	▲ 6.1%
寺内芝	81	27	13.6%	77	32	11.7%	▲ 4.9%
鴫崎	129	34	17.8%	132	35	26.5%	2.3%
西和田	115	30	22.6%	94	29	35.1%	▲ 18.3%
西坂	49	14	18.4%	41	14	31.7%	▲ 16.3%
西部田	134	25	24.6%	120	28	28.3%	▲ 10.5%
みずほ台	1,391	427	4.5%	1,465	507	9.4%	5.3%
地区計	3,456	1,005	15.0%	3,317	1,111	19.7%	▲ 4.0%

※平成23年香取市平均高齢化率：26.9%

2 地域住民の意向

現在、私たちを取り巻く環境は、少子高齢社会の急速な進行に加え、国や自治体の厳しい財政運営や長引く経済情勢の低迷、さらには、東日本大震災からの復興・復旧など、あらゆる面で厳しい社会情勢となっています。

瑞穂地区においても、今後、地域の子どもたちや高齢者をどう支えていくか、あるいは災害時にどう対応していくかなど、様々な課題が山積しつつあります。

この地域に住む私たちは、その現実を知り、それに伴う将来を見据え、未来の子どもたちへ豊かな地域を守り、引き継ぐために、今できることから取り組みを始めることが必要となります。

そこで、本協議会では、私たちが願う将来の瑞穂地区はどうあるべきか、今後取り組むべき活動等について、次のとおり、「住民まちづくりアンケート調査」及び「地区別まちづくり座談会」を実施し、地域の多くの皆さんから寄せられた意見を参考にして、私たちが暮らす瑞穂地区の今後のあり方を検討することとしました。

■住民まちづくりアンケート調査

(1) 調査期間：平成24年11月～12月

(2) 回答者数：1,137名

(3) 調査結果：調査結果については、6～14ページのとおり

※回答者からいただいた具体的な意見等については、資料
編 14～32ページ参照

■地区別まちづくり座談会

開催日時	平成25年1月20日（日） 午後7時～9時	平成25年1月27日（日） 午後7時～9時
会場	みずほふれあいセンター	
地区	堀之内、谷中、寺内、 寺内芝、鵜崎	西和田、西坂、西部田、 みずほ台
内容	16～17ページのとおり	

瑞穂まちづくりアンケート調査の結果

1 アンケートの概要

(1) 目的

瑞穂地区地域まちづくり計画を策定するにあたり、地域住民一人ひとりの意見を反映させるため、本地域に在住する住民に対し、アンケート調査を実施した。

(2) 実施時期

平成24年11月～12月

(3) 実施主体

瑞穂まちづくり協議会

(4) 対象

瑞穂地区の高校生以上の住民

※2人以上の世帯は2部、単身世帯は1部調査票の記入(回答)を依頼

(5) 方法

配布・回収とも24年度区長会(各区长)の協力を得て実施

(6) 回答者数

調査対象世帯数：1,120世帯

回収票数：1,137票

(7) 集計結果記載方法

アンケートは、「選択方式」を採用しており、「複数選択」を可としている設問があります。その場合の比率は、回答者数に対する割合を表記しています。

問1. お住まいは？

	回答数	割合
堀之内	155	13.6%
谷中	200	17.6%
寺内	110	9.7%
寺内芝	36	3.2%
鴫崎	51	4.5%
西和田	43	3.8%
西坂	19	1.7%
西部田	19	1.7%
みずほ台	504	44.3%
計	1,137	100.0%

問2 性別は？

	回答数	割合
男性	571	50.2%
女性	559	49.2%
無回答	7	0.6%
計	1,137	100.0%

問3 年齢は？

	回答数	割合
15~18歳	13	1.1%
19~29歳	59	5.2%
30~49歳	283	24.9%
50~64歳	462	40.6%
65~74歳	210	18.5%
75歳以上	103	9.1%
無回答	7	0.6%
計	1,137	100.0%

問4 家族は？

	回答数	割合
1人	49	4.3%
2人	332	29.2%
3人以上	752	66.1%
無回答	4	0.4%
計	1,137	100.0%

問5 住んでいる理由は？

	回答数	割合
生まれも育ちも瑞穂地区	359	31.6%
結婚した相手が 瑞穂地区出身者だった。	202	17.8%
新たな居住地として 瑞穂地区に住んでいる。	554	48.7%
その他	14	1.2%
無回答	8	0.7%
計	1,137	100.0%

問6 住みやすいと思う？

項目	回答数	割合
思う	617	54.3%
思わない	242	21.3%
わからない	278	24.4%
計	1,137	100.0%

問7 治安は？

	回答数	割合
良いと思う	649	57.1%
悪化している	197	17.3%
わからない	291	25.6%
計	1,137	100.0%

問8 住み続けたいと思う？

	回答数	割合
ずっと住んでいたい	491	43.2%
当面は住みたい	336	29.6%
いずれは他地域に移りたい	118	10.4%
わからない	192	16.9%
計	1,137	100.0%

問9 子や孫に住んでほしいと思う？

	回答数	割合
ずっと住んでほしい	243	21.4%
他地域に住んでもよい	420	36.9%
いずれは住んでほしい	222	19.5%
わからない	252	22.1%
計	1,137	100.0%

問10 地域の将来を考えるうえで、特に重視すべきことは？（複数選択）

		選択数	選択割合
1	近所や地域のつきあい・助け合い	729	64.1%
2	通院や買い物など“生活の足”の確保	672	59.1%
3	子どもの安心・安全の確保	474	41.7%
4	震災、水害、火災などに対する防災対策	440	38.7%
5	高齢者の生きがいや健康づくり	363	31.9%
6	子育て支援活動の充実	288	25.3%
7	防犯対策・防犯活動	288	25.3%
8	健康維持や介護予防の取組み	227	20.0%
9	青少年の健全育成	223	19.6%
10	雇用の場の確保	209	18.4%
11	自然環境の保全	182	16.0%
12	農業後継者の育成	168	14.8%
13	個人のプライバシー	166	14.6%
14	地域の清掃活動などによる生活環境の改善	148	13.0%
15	祭りやイベント等を通じた住民の交流	137	12.0%
16	地域を担う人材の育成	130	11.4%
17	ボランティア活動の推進	79	6.9%
18	歴史や文化の保存・継承	67	5.9%
19	その他	12	1.1%

問11 少子化問題・地域でできることは？（複数選択）

		選択数	選択割合
1	若者が地域に定着できるよう、 魅力ある地域づくりを行う	565	49.7%
2	地域全体で瑞穂地区の子供たちを育て、 見守り、子育てがしやすい環境づくりを行う	406	35.7%
3	地域行事を通じた住民のコミュニケーション を充実させ、人と人とのつながりを大切にした 地域づくりを行う	237	20.8%
4	子ども時代に地域の自然の中で遊び、学ぶこと により、地域への愛着心を育む	185	16.3%
5	少子化対策は全国的に行われていても解決に 至っていない難しい問題であるので、地域ででき ることはない	130	11.4%
6	わからない	80	7.0%
7	その他	33	2.9%

問12 安全対策・地域で行えば良いことは？（複数選択）

		選択数	選択割合
1	高齢者世帯の健康確認を含めた見守り活動	543	47.8%
2	子どもの通学の際の見守り活動	452	39.8%
3	災害時における要援護者の把握と援護体制づくり	440	38.7%
4	地区全体で毎年、防災訓練を行い、地震などの自然災害や火事などに備える	217	19.1%
5	高齢者を対象にした交通安全教室や防犯教室の開催による意識啓発	163	14.3%
6	安全・安心対策は各自で行うことであり、地域が行うことではない	39	3.4%
7	その他	12	1.1%

問13 高齢者福祉・地区にあったらいいと思うサービスは？

(複数選択)

		選択数	選択割合
1	病院や買い物などへの送迎サービス	631	55.5%
2	趣味の活動の場など、多くの方とふれあえる 機会の提供	363	31.9%
3	好きなときに集まり、交流ができる（交流サ ロンなど）の開設	321	28.2%
4	高齢者などを対象にした昼間の見守り活動	244	21.5%
5	健康維持や介護予防のための健康教室の開催	230	20.2%
6	高齢者と同居していないので、わからない	71	6.2%
7	その他	7	0.6%

問14 「まちづくり」のイメージは？

	回答数	割合
行政が主体的に進めるもの	126	11.1%
一部の人たちが行っているもの	68	6.0%
住民が主体的に行うもの	75	6.6%
住民と行政が協働で行うもの	713	62.7%
わからない	155	13.6%
計	1,137	100.0%

問15 「住民参加」についての考えは？

	回答数	割合
何事にも積極的に参加したい	42	3.7%
内容や頻度等によっては、積極的に参加したい	264	23.2%
頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい	509	44.8%
関心がない	70	6.2%
わからない	251	22.0%
その他	16	1.4%
計	1,137	100.0%

問16 協議会の設立を知っていましたか？

	回答数	割合
知っていた	408	35.9%
知らなかった	708	62.3%
無回答	21	1.8%
計	1,137	100.0%

地区別まちづくり座談会 開催結果

1 目的

地域まちづくり計画の策定過程において、住民とともに地域の課題や目指すべき将来像、地域自らが取り組むべき具体的活動内容等を明らかにし、共通理解を得るとともに、改めて今後の協議会活動への理解・協力を求めています。

2 参加者

協議会委員については、各地区全員の参加を依頼

3 内容

日頃からいただいている地域の良いところ、悪いところ、地域をどのようにしていきたいか・・・など、会議形式ではなく、意見が出やすいように 10人前後の班に分けて話し合い、最後に班ごとに発表を行う。

☆テーマ1：「地域の現状・課題（将来像）について」

(1) “住んでいて、ここが気になる、心配だ・・・と思うことは？”

(2) “住んでいて、ここが良いところだ、強みだ・・・と思うことは？”

☆テーマ2：「今後、地域で取り組むべき活動等について」

“今後、自分たちでやってみたいと思うこと、誰かにやってもらいたいこと、活動を続けてもらいたい・・・と思うことは？”

地区別まちづくり座談会での主な意見

■気になる現状

【防災・防犯・交通安全】

- ・避難場所がわからない人が多い
- ・避難所、地区防災拠点がない
- ・西坂神社周辺の通学路の凍結（危険）
- ・登下校時の交通安全

【生活環境】

- ・犬の糞などペットマナーの悪い人がいる
- ・ポイ捨てごみや他地区からのごみの持ち込みが増えている
- ・買い物が不便 ・働く場所がない

【健康・高齢者福祉】

- ・一人世帯、高齢者だけの世帯が増加
- ・高齢者クラブがない
- ・高齢者の交流の場が少ない
- ・“買い物難民” ・高齢者の移動手段

【子ども・教育】

- ・小学校入学生が少なくなっている
- ・子どもが外で遊ぶ場（公園）が少ない

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・若い世代の交流、行事がない
- ・若者の流出、未婚者が増加している
- ・役員をやる人がいない
- ・消防団の後継者不足
- ・祭り、神事が少なくなった
- ・コミュニティセンターの利用が少ない

【その他】

- ・交通が不便 循環バスの利便性が悪い
- ・神崎駅への交通アクセスが必要
- ・農業後継者の不足

■好ましい現状

【防災・防犯・交通安全】

- ・他地区に比べ、災害に強い地域
- ・（みずほ台）自主的な登下校見守り、防犯パトロール隊活動、防災訓練を実施
- ・不審者なく、治安が良い

【生活環境】

- ・白鳥が飛来するなど恵まれた自然環境
- ・不審者なく、治安は良い
- ・農地水環境団体の活動が盛ん
- ・（みずほ台）年6回の環境美化活動

【健康・高齢者福祉】

- ・民生委員による高齢者の見守り
- ・高齢者が住む環境が良い
- ・（みずほ台）週1回、高齢者ふれあいサロン開設

【子ども・教育】

- ・（みずほ台）自主的な登下校見守り、子どものイベントを実施

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・隣近所の仲が良く、協力し合っている
- ・ふれあいセンターがあり、多くの活動、交流が行われている
- ・みんな人が良く、災害時など困ったときは、お互い助け合っている
- ・おびしゃで若者も参加することで、住民の交流ができています

【その他】

- ・昔、獅子舞や神輿があった。

■ 今後、取り組むべき活動や要望など

【防災・防犯・交通安全】

- ・ 防災拠点、避難所としての「みずほふれあいセンター」の活用
- ・ 地区防災訓練の実施
- ・ “散歩しながら”パトロールなど地域ぐるみの児童生徒見守り活動の実施
- ・ 通学路等の安全点検

【生活環境】

- ・ 自然を守る、地域の環境を守る様々な活動が必要
- ・ ペット飼育マナーの順守、ポイ捨て禁止など看板や広報紙などでの啓発
- ・ 農地水環境保全団体による活動の継続（まちづくり協議会の支援）
- ・ 雇用の場の創出、若い人が働ける地域にする

【健康・高齢者福祉】

- ・ 高齢者がコミュニケーションを取れる活動
- ・ 民生委員による高齢者見守りの継続
- ・ 住民の健康増進のための実践の場づくり
（ウォーキング大会、健康体操 等）

【子ども・教育】

- ・ 子どもたちへ昔の遊びを教える機会をつくり、世代間の交流を図る
- ・ 子どもが外で遊べる環境づくり（公園の整備等）

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・ みずほふれあいセンターでの活動を多岐にわたって継続・充実させる
- ・ 農協跡地での朝市の開催
- ・ 夏祭り、朝市、子どもイベント等への他住民参加について、地区全体に呼びかける

【その他】

- ・ 下総神崎駅への交通手段の確保（行政への要望）
- ・ 雇用の場の確保、企業の誘致
- ・ 農業後継者の育成

3 各区・自治会の現状

コミュニティの最小単位は、区及び自治会です。現在、瑞穂地区の自治会は旧瑞穂村の堀之内・寺内・鴫崎・西和田・西坂・西部田・谷中の各区と、寺内芝自治会、さらに平成5年5月15日に「瑞穂ニュータウン」地域が「みずほ台」という大字になり、全部で9区の構成です。これらは瑞穂小学校の学区とも一致します。

各区にはそれぞれ伝統があり、区長等の役員を選出し、寺社・共同施設の維持管理や、道普請、用水路などの維持管理、時代の移り変わりとともに少なくなりましたが、「オビシャ」「寺内祇園」等の行事も続いています。

一方で、若者の都市部への流出、晩婚化、非婚化、少子・高齢化の問題、さらにマイカーの普及、非農家つまり勤労世帯の増加と共に、核家族や個人主義といった考え方が広まっている状態も指摘できます。

一例をあげますと家の普請や葬儀なども区民相互の援助から、その大部分を業者に任せるようになりました。簡素化することは、それはそれで負担も少なく良いことですが、近隣付き合いが疎遠になりがちなこと確かです。

下記にコミュニティ施設を記載しました。特に、瑞穂地区では、人権を尊重するまちづくりが充実し、その拠点施設である「みずほふれあいセンター」の利用状況も良好です。

【コミュニティ施設一覧】

地区名	施設名	設置年度	備考
堀之内	表郷公会堂	昭和58年	
〃	中郷公民館	平成5年	
〃	西郷公会堂	昭和38年	
〃	中津公会堂	平成2年	
谷中	みずほふれあいセンター	昭和61年	市管理
〃	谷中公会堂	昭和56年	
寺内	寺内公会堂	昭和57年	
鴫崎	鴫崎農村協同館	昭和46年	
西和田	西和田公民館	昭和53年	
西部田	西部田公民館	昭和62年	
西坂	西坂公会堂	昭和56年	
みずほ台	みずほ台コミュニティセンター	平成7年	

4 各種団体（地域活動団体）の現状

瑞穂地区では、様々な分野において、地域住民により組織された各種団体（地域活動団体）のまちづくり活動も積極的に展開されています。

区長会をはじめ、地区住民の会費をもって、例えば独居老人に対する月1回の給食サービスや、子供たちと高齢者の「ふれあいの集い」の開催などを行っている瑞穂地区社会福祉協議会や民生児童委員、主任児童委員、母子福祉協力委員、青少年相談員、PTA、交通安全協会、消防団、防犯パトロール隊、食生活改善推進員、スポーツ推進員、農業委員、それに近年新たに組織されました農地・水環境保全組合などです。

また、各種スポーツ少年団が結成され、子どもたちも、スポーツを通じて元気に成長しています。



【様々な地域活動の拠点】みずほふれあいセンターでの活動例

5 瑞穂地区の主な課題

瑞穂地区の現況及び地域住民の意向等を踏まえ、瑞穂地区におけるまちづくりの主な課題について整理します。

(1) 少子高齢化への対応（福祉・健康・子育て環境の充実）

- 若年層の地区外への流出が目立ち、人口が減少する一方、高齢者一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯が増加しています。
- 少子高齢化が進み、高齢者にとっても、またその家族にとっても、地域内の防犯・防災面や健康など福祉において、不安を解消していく必要があります。
- 高齢により自ら自動車を運転出来ない人が増え、通院や買い物等日常生活の不便さから、閉じこもりがちになってしまう高齢者が出てくること予想されます。
- 高齢者の見守りの体制や生きがい作りの場があまりありません。
- 子育て世代の親子を支援する環境があまりありません。
- 全国的に見て、生活習慣病や成人病、認知症などが増える傾向にあることから、健康診断の受診や運動不足の解消など健康づくりに関する意識を高めていく必要があります。
- 少子化や保護者の就労環境及び地域社会の様態の変化により、幼児教育や学童保育の充実など、安心して子育てができる環境づくりが求められています。
- 結婚しない人が増え、少子化が進むことにより、今後、自治会や消防団などの地域活動の担い手不足が懸念されることから、地域を担う後継者やリーダーの人材育成を進める必要があります。

(2) 安心・安全な地域の創出

- 東日本大震災や、全国各地で頻発する自然災害などで、地震や水害などの自然災害への住民の不安を解消していく必要があります。
- 子どもや高齢者などが犠牲となる犯罪や交通事故が全国的に発生していることから、地域で子どもや高齢者を犯罪や事故からどう守っていくか検討する必要があります。

(3) 住民交流の促進、地域コミュニティの活性化、歴史・文化の継承

- 瑞穂地区では、隣近所や人と人とのつながりが強く、地域内で助け合えるコミュニティができていますが、近年、地区全体で集まる機会や、子どもたちとの交流の機会が少なくなっており、地域に対する関心や愛着、世代間の交流が薄れていくことが懸念されます。
- 特に若い世代の地域行事や地域活動への参加が少なく、地域に対する関心や愛着、地域内の住民交流がさらに薄れていくことが懸念されます
- 地区の豊かな歴史と文化を次の世代に引き継いでいくためには、世代間交流を通して、ふるさとの歴史・文化、伝統行事を学び、ふるさに誇りが持てるようにする必要があります。
- また、地域内の行事など、今後も継続していくために、内容によっては、区の枠を越えた取り組みの統合などを検討していく必要があります。

(4) 環境保全・美化、地域産業（農業）の振興

- ごみのポイ捨てやペットの飼育マナーの悪さ（糞の不始末など）が見受けられ、緑豊かな自然景観が阻害されることが懸念されます。そのため、豊かな自然の保全・活用を図るとともに、清掃や美化活動の推進が必要です。
- 農業従事者の高齢化や農業経営者が減少していく中で、今後、休耕田や耕作放棄地が増加していく事が予想されます。

6 香取市総合計画

「香取市総合計画」との整合を図るため、同計画の概要を整理します。

<p>計画の構成と 期間</p>	<p>基本構想：（初年度）平成20年度～（目標年度）平成29年度 基本計画：前期（20～24年度） 後期（25～29年度） 実施計画：単年度ごとの行動計画として作成</p>
<p>基本理念 （まちづくり の基本的な考 え方</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 市民協働による 暮らしやすく 人が集うまちづくり </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民協働」とは、市民と行政が対等の立場で一緒になって考え、責任も共有しながら、ともに理想とするまちを築き上げていく取組み。 ・「暮らしやすく」とは、基盤整備から環境、福祉など様々な意味で満足できる市民生活が送れることを目的とします。 ・「人が集う」とは、魅力あるまちづくりを推進することにより、定住人口の減少を食い止め、また交流人口の拡大を図る。
<p>将来都市像</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 元気と笑顔があふれるまち 一人ひとりの市民が輝く 活気みなぎる やすらぎの郷 香取 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気」とは、躍動感のある経済活動、人と人との交流などを通じて、みんなで創り上げていく、活気・にぎわいのあるまちの様子 ・「笑顔」とは、安全安心な暮らしを満喫でき、人と人との心の交流、繋がりが強い、快適で潤いのあるまちの様子 ・「一人ひとりの市民が輝く 活気みなぎる やすらぎの郷 香取」とは、全ての市民が充実感を抱き、輝きながら暮らしていける「誰もが憩えるふるさと」を目指します。
<p>基本目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> I 豊かさが実感でき、活力ある産業を育むまちづくり II 人と自然が共有し、快適で安心して暮らせるまちづくり III 住み慣れた地域で誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくり IV 歴史と文化に包まれて、心豊かな人を育むまちづくり V 緑の中で、便利で暮らしやすい都市機能が充実したまちづくり VI 市民と行政がともに築く、自立したまちづくり

第3章 瑞穂まちづくり協議会が目指すまちづくり

1 まちづくりの全体テーマ（将来像）

瑞穂地区の目指すまちづくりのテーマを次のように設定します。

■瑞穂地区の現況

■地区住民の意向

■瑞穂地区の主な課題

- 1) 少子高齢化への対応
（福祉・健康・子育て環境の充実）
- 2) 安心・安全な地域の創出

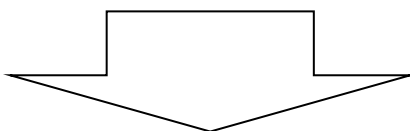
- 3) 住民交流の促進、地域コミュニティの活性化、歴史・文化の継承
- 4) 環境保全・美化、農業の振興

■香取市総合計画

【基本理念】“市民協働による 暮らしやすく 人が集うまちづくり”

【将来都市像】 “元気と笑顔があふれるまち”

一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取



【まちづくりの全体テーマ（将来像）】

誰もが生涯安心して生活でき、

心豊かな 瑞穂の郷づくり

さと

2 将来像実現のための基本理念

瑞穂地区の将来像を達成するため、本協議会が取り組むべき内容について、アンケート調査やまちづくり座談会での住民の皆さんからの意見をもとに、次の4つの基本理念に整理しました。

I 人と人とのふれあいを大切に育む郷づくり

【地域コミュニティ・住民交流・子育て】

住民同士の交流の機会を提供し、住民相互の交流と相互理解を深めるとともに、地域で子どもたちを育み、安心して子育てができる環境を創出することにより、地域住民とのふれあいや信頼関係を育みます。

II 住民誰もが安心して暮らせる郷づくり 【防災・防犯】

災害や犯罪に強いまちづくりを推進していくには、行政だけでは限界があることから、地域における防災・防犯体制を強化するとともに、日頃から防災意識を高め、地域ぐるみの防災・防犯活動に取り組みます。

III 互いに助け合い、笑顔で暮らせる郷づくり 【福祉・健康】

急速な少子高齢化に対応していくため、住民一人ひとりが持つ温かい心が重なり合い、広がるよう住民相互の交流と理解を深めながら、高齢者福祉や健康づくりなど地域みんなで支え合い、助け合う体制づくりに取り組みます。

IV 豊かな自然と歴史・文化を次世代につなぐ郷づくり 【環境・文化】

地区の豊かな自然環境と主産業である農業を守り、次の世代に伝えるため、農地や水辺、里山などの保全活動や地域の環境美化を進めるとともに、農業の振興を図ります。

第4章 将来像の実現に向けた施策

1 活動目標及び基本施策

基本理念Ⅰ：人と人とのふれあいを大切に育む郷づくり

☆活動目標1：住民交流を通じた一体感のあるまちづくり

地域の一人ひとりが気軽に自分ができることで地域づくりに参加することで、地域住民相互の交流と相互理解を深めるとともに、情報を発信し、情報共有を図ることで、誰もが顔見知りの、愛着の持てる地域コミュニティの再構築を目指します。

基本施策と活動例	関係団体
<p>(1-1) 住民交流イベントの充実</p> <p>地域のあらゆる人が参加しやすい住民交流イベントを開催・支援することにより、住民相互の交流を深めます。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none">・朝市、瑞穂ふれあいフェスティバル、夏祭り（盆踊り）、コンサート（音楽会）、料理コンテスト、趣味の発表会、等 の開催	区（区長会）、 地区社協、 各種団体、 住民 等
<p>(1-2) スポーツ・レクリエーション活動の推進</p> <p>スポーツ・レクリエーション活動を推進し、各自の健康と体力を増進します。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none">・ウォーキング大会、地区対抗運動会の開催・グラウンドゴルフ、軽スポーツなど子どもから高齢者まで参加できる各種スポーツ大会の開催・小中学校運動会への地域住民の支援及び参加	区（区長会）、 スポーツ推進 委員、 各種団体、 住民 等

<p>(1-3) 広報紙の発行</p>	<p>各種団体、住民、等</p>
<p>各団体や各区の行事や住民からの投稿なども掲載した広報紙の発行を目指します。協議会の活動を周知するとともに、情報の共有化を図り、相互理解を深めます。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型広報紙の作成、発行 ・住民からの投書箱（目安箱）の設置 ・ホームページ等の開設 	
<p>(1-4) 地域の歴史や文化の保全活動</p>	<p>区、各種団体、住民、等</p>
<p>身近な地域の歴史や文化、地域に伝わる祭事や行事、生活文化等を保存、継承していく活動を推進することにより、生まれ育った地域への愛着をいっそう深める。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等の映像記録化の推進 ・昔の話や写真等をもとにした記録集の作成 ・地域スポットを巡るウォーキング大会の開催 ・地域の歴史や文化を知るための学習会の開催 ・地区内文化財等の案内看板の設置 	



☆活動目標2：地域で子どもたちを育み、子育てを支援するまちづくり

地域で子どもたちを育み、安心して子育てができる環境を創出するとともに、世代間交流等を通して地域住民とのふれあいや信頼関係を育みます。

基本施策と活動例	関係団体
<p>(2-1) 子どもたちとの交流の推進</p> <p>地域住民が趣味や特技等を生かした子どもを対象とする地域講座を開設するなど、地域ぐるみで子どもたちを育てていく事業を通じて、住民相互のふれあいや相互理解を深め、信頼関係を育み、安心して子育てができる環境を整えます。世代間交流を深める事業を実施します。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを対象とする農業体験、宿泊体験学習などの実施 ・昔の遊び教室、餅つき大会などの開催 ・教育、学校、子ども等をテーマとした講演会の開催 ・青少年健全育成に係る作文、標語の募集、コンクールの実施、看板、のぼり旗等の作成、設置 ・PTA、青少年相談員活動への人的支援 等 	<p>区（区長会）、地区社協、PTA、青少年相談員、スポーツ推進委員、小学校、保育所、住民 等</p>
<p>(2-2) 子どもたちの地域参加の推進</p> <p>ごみ拾いなど、ふるさとを良くしたいという気持ちから子どもたち自らが自分たちにできることを考え、取り組むことを家庭・地域・学校の三者が連携し、支援します。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生による定期的清掃美化活動、花植え運動、高齢者や保育所児童との交流 など 	<p>区（区長会）、地区社協、PTA、青少年相談員、小学校、保育所、住民 等</p>

<p>(2-3) 子育て支援の充実</p>	<p>区長会、 地区社協、 PTA、 小学校、 保育所、 住民、等</p>
<p>地域で安心して子育てができる環境づくりを推進するため、行政と連携しながら、幼児教育や学童保育の充実及び地域教育活動の推進等について調査検討し、実践します。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や学童保育等の環境整備に係る検討及び実践 ・ 小学校と地域住民との懇談会の開催 ・ 親（子）の集いの開催 ・ 小学校4年生以上の学童一時預かりボランティア 	
<p>(2-4) 小学校・保育所等との連携活動</p>	<p>区長会、 小学校、 保育所、 PTA、 住民等</p>
<p>地域の子どもたちが通う小学校や幼稚園等と地域が連携したまちづくり活動を行う。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校や保育所の行事等と連携した住民交流イベントの開催 	

基本理念Ⅱ：住民誰もが安心して暮らせる郷づくり

☆活動目標3：地域防災体制の充実による災害に強いまちづくり

防災訓練や講習会を開催するなど、地域住民の連携と協調が図れる災害に強い地域づくりを展開します。

基本施策と活動例	関係団体
<p>(3-1) 地域防災体制の確立</p> <p>災害時の拠点づくりや自主防災組織の設立など、地区全体の防災体制のあり方等について検討する。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の拠点づくりなど、地域防災体制を考える検討会議の開催 ・自主防災組織設立に関する説明会の開催 	<p>区（区長会）、 消防団、 自主防災組織 等</p>
<p>(3-2) 防災意識の啓発</p> <p>防災に関する講習会の開催や防災訓練等の実施、啓発資料の配布などにより、防災意識の高揚を図る。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による防災講習会の開催 ・地区防災訓練（または防災運動会）の実施 ・災害時炊出ボランティアの募集、炊出訓練の実施 等 	<p>区（区長会）、 消防団、 自主防災組織、 小学校、 住民 等</p>
<p>(3-3) 災害対応マニュアルの作成</p> <p>避難場所の確認や非常時持出品、備蓄品準備、災害時の対処方法、各種連絡先一覧など身近な対応策をまとめた災害対応マニュアルを作成することにより、地域の自主防災力を高める。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域（自治会、各種団体等）間緊急連絡体制の整備 ・“瑞穂地区災害対応マニュアル”の作成、配布 	<p>区（区長会）、 消防団 自主防災組織、 住民 等</p>

<p>(3-4) 災害時の援助体制づくり</p>	<p>区（区長会）、 地区社協、 民生児童委員、 住民 等</p>
<p>地域内の一人暮らしや高齢者世帯などの災害弱者に対する支援・協力体制づくりを行います。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域（自治会、各種団体等）間緊急連絡体制の整備 ・「災害時要援護者」の把握、援護体制づくり 	
<p>(3-5) 危険箇所の把握（安全・安心マップづくり）</p>	<p>区（区長会）、 小学校、 住民、等</p>
<p>自治会などが中心となって、地域内の災害時における危険箇所などの把握を行い、関係機関とともに改善に努めるとともに、地域住民に注意を呼びかける。</p> <p>また、防犯や交通事故防止に係る危険箇所を含め、「(仮称)瑞穂小学校区あんぜんマップ」を作成するなどし、各世帯に配布します。</p>	



平成21年10月
瑞穂地区防災訓練

☆活動目標4：各種団体との連携による犯罪・交通事故のないまちづくり

一人ひとりの防犯意識及び交通安全意識を高め、誰もが安全に暮らせる、犯罪や交通事故のないまちづくりを行います。

基本施策と活動例	関係団体
<p>(4-1) 通学時見守り活動・防犯パトロール活動の推進</p> <p>保護者だけでなく、各種団体とも連携しながら、不審者情報の活用や登下校のパトロールなどを通じて、児童や生徒の安全確保に努めるなど、防犯パトロール活動を推進します。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校見守り隊の結成、活動支援 ・「子ども110番宅」の設置協力の呼びかけ ・健康づくりを兼ねた“散歩パトロール”や“自転車パトロール”等個人ボランティア募集、活動支援 	<p>区（区長会）、地区社協、交通安全協会、防犯パトロール隊、PTA、小学校、住民 等</p>
<p>(4-2) 防犯・交通安全意識の啓発</p> <p>研修会の開催や広報紙による啓発、標語募集を行うなど、防犯や交通安全に関する住民意識の向上を図る。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもを対象とした防犯や交通安全に関する講習会の開催 ・標語募集、のぼり旗の設置による意識啓発 ・地区内カーブミラー一斉点検 	<p>区（区長会）、地区社協、交通安全協会、防犯パトロール隊、PTA、小学校、住民 等</p>
<p>(4-3) 声かけ（あいさつ）運動の展開</p> <p>“出会ったら、まずあいさつ”を合言葉に、声かけやあいさつ運動を地域や学校など各種団体が連携して実施することにより、近所付き合いや住民同士の交流を大切にするとともに、地域ぐるみで高齢者や子供の見守り活動を進める。</p>	<p>区（区長会）、地区社協、小学校、住民、等</p>

基本理念Ⅲ：互いに助け合い、笑顔で暮らせる郷づくり

☆活動目標5：高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

高齢者やその家族が安心して生活できるように、地域ぐるみで高齢者福祉を推進するとともに、移動手段の確保について検討します。

基本施策と活動例	関係団体
<p>(5-1) 高齢者のふれあいの場づくり</p> <p>高齢者が気軽に自由に集まり、談話やゲームなどで楽しめる集いの場を提供し、心身ともに健康でいきいきと生活できる環境の整備を行う。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者ふれあいサロン、地区敬老会など定期的な高齢者の交流機会（高齢者の集い）の提供 	<p>区（区長会）、 地区社協、 民生児童委員、 住民 等</p>
<p>(5-2) 高齢者の見守り活動の推進</p> <p>高齢者やその家族が安心して生活ができるように、地域ぐるみで高齢者の見守り活動を行うとともに、活動を通して地域住民相互の交流を図ります。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者世帯への声かけなど見守り活動の実施 ・ 高齢者福祉活動に係るボランティア育成、支援 ・ 区単位で日常的に見守り活動が行える体制づくりの研究 	<p>区（区長会）、 地区社協、 民生児童委員、 住民 等</p>
<p>(5-3) 高齢者等の移動手段の確保</p> <p>行政と連携を図りながら、高齢者等の通院や買い物等生活するうえで必要な場所への移動手段が確保できるような仕組みづくりについて調査、検討します。</p>	<p>区（区長会）、 住民、 行政 等</p>

☆活動目標6：みんなが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

健康づくりや生涯学習の機会を提供することにより、住民誰もが健康で生きがいや充実感を持って暮らせるようにします。

基本施策と活動例	関係団体
<p>(6-1) 健康づくりの実践の場づくり</p> <p>ウォーキング、グラウンドゴルフなど気軽に取り組める健康づくりの実践の場づくりを支援し、住民の健康増進を図ります。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康スポーツ教室、健康料理教室などの開催 ・夏休みラジオ体操大会の開催 ・地区内ウォーキングマップの作成 	<p>区（区長会）、地区社協、食生活改善推進員、各種団体、住民等</p>
<p>(6-2) 健康維持・介護予防等の意識啓発</p> <p>健康教室の開催や啓発資料の配布等により、健康づくりや介護予防などに対する住民の意識の高揚を図ります。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による講演会、健康講座及び勉強会などの開催 ・健康診断受診率向上に係る各種活動 	<p>区（区長会）、食生活改善推進員、各種団体、住民等</p>
<p>(6-3) 生涯学習を支援する仕組みづくり</p> <p>誰もが気軽に参加できる趣味の講座を開設し、それをきっかけにサークル化に結び付けたり、発表の機会や場を設けるなど、趣味を通じた仲間づくりを支援します。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味教室、地区文化祭（展覧会・物産展）の開催 ・地区文化（趣味）サークルの立上げ 	<p>区（区長会）、各種団体、住民、等</p>

基本理念Ⅳ：豊かな自然と農業を次世代につなぐ郷づくり

☆活動目標7：豊かな自然環境と農業を守り、次代につなげるまちづくり
 地区の豊かな自然環境と主産業である農業を守り、次の世代に伝えるため、自然や河川景観などの保全活動や地域の環境美化を進めるとともに、農業後継者の育成など農業の振興を図ります。

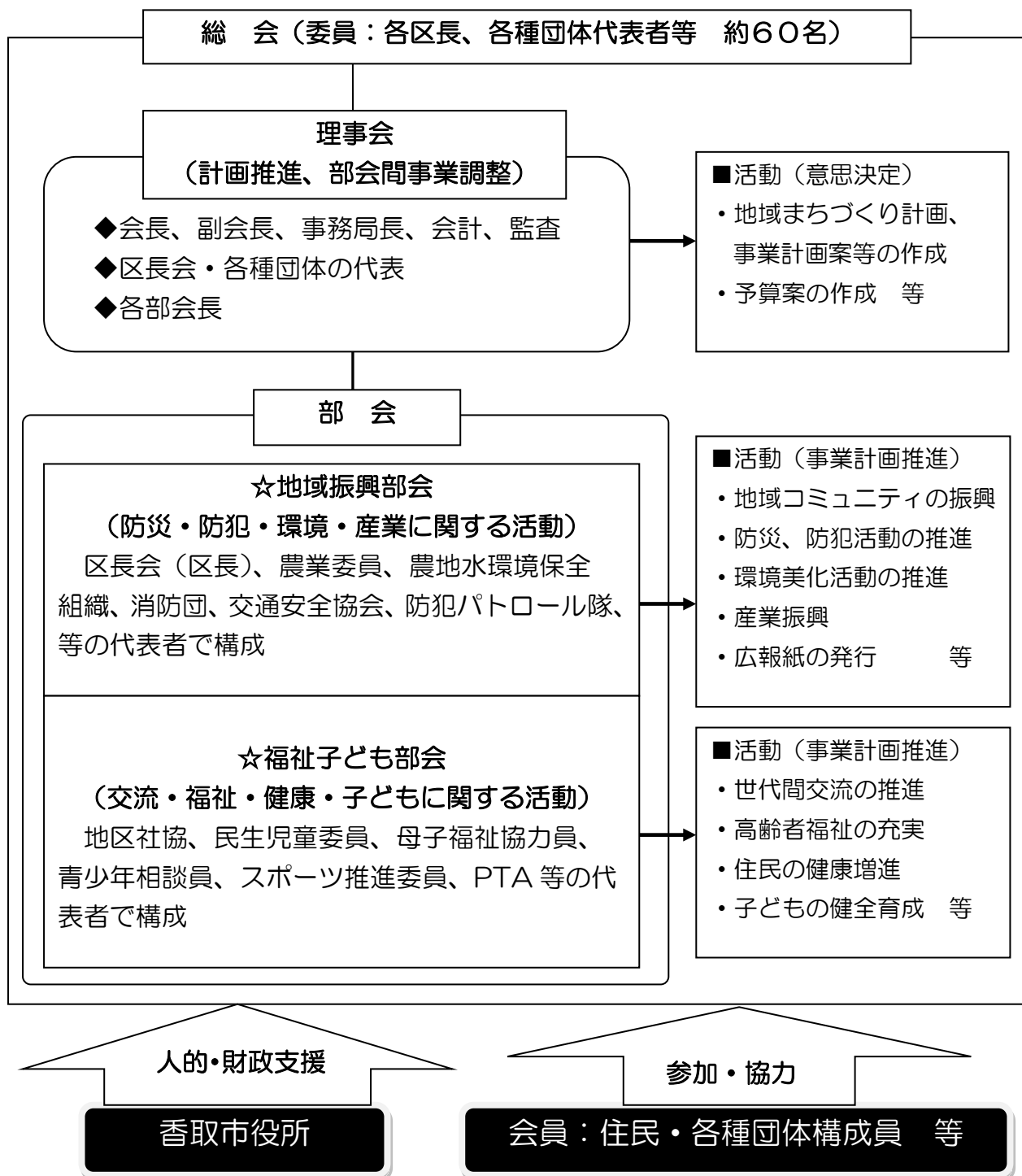
基本施策と活動例	関係団体
<p>(7-1) 環境美化・保全活動の推進</p> <p>ふるさとをきれいにすることによって、住みよいまちづくりと地域住民の交流を深めます。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごみゼロ運動（年1～2回）の実施 ・公園、通学路等の清掃、草刈り、障害となる木枝の伐採など定期的清掃活動の実施 ・農地保全組織と連携した環境美化活動 ・防犯パトロールを兼ねたごみ拾いボランティアの支援 ・環境美化に係る標語の募集 ・花いっぱい運動の推進、花づくり講習会の開催 ・野鳥などの自然観察会、体験イベントの開催 	<p>区（区長会）、農地水環境保全組織、小学校、各種団体、住民 等</p>
<p>(7-2) リサイクル活動の推進</p> <p>資源ごみ回収や不用品の再利用等のリサイクル活動とごみの減量化に取り組むとともに、まちづくり活動の財源を確保します。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザー、フリーマーケットの開催 ・資源ごみ回収の定期的実施 	<p>区（区長会）、各種団体、住民 等</p>

<p>(7-3) 不法投棄防止運動の実施</p>	<p>区（区長会）、 各種団体、 住民 等</p>
<p>定期的な巡回や広報紙等により、ゴミの不法投棄防止やペットの飼育マナーの順守を呼びかけます。 【活動例】 ・ポイ捨て（ペットの糞放置）禁止看板の設置</p>	
<p>(7-4) 地域産業（農業）の振興</p>	<p>農地水環境 保全組織 住民 等</p>
<p>地産地消の推進、遊休農地の有効活用などにより、地域産業（農業）の振興を図ります。 【活動例】 ・各種地域行事などと連携した青空市、朝市の開催 ・地元産米「瑞穂米」のPR ・遊休農地を活用し、高齢者と子どもと一緒に作物を栽培し、交流する「ふれあい農園」の設置</p>	
<p>(7-5) 遊休農地等の有効活用</p>	<p>農地水環境 保全組織、 住民 等</p>
<p>遊休農地等を活用し、高齢者と子どもと一緒に作物を栽培し、収穫物を使って交流会を実施したり、交流イベントで利用するなど、その有効活用を図ります。</p>	
<p>(7-6) 農業後継者等新たな農業の担い手の育成</p>	<p>農地水環境 保全組織 等</p>
<p>農業後継者の育成や新たな農業従事者を受け入れる体制を構築するなど、地域ぐるみで農作業に従事しやすい体制づくりを行います。 【活動例】 ・農機具の共同管理、農作業の委託制度等の検討</p>	
<p>(7-7) コミュニティビジネスの検討</p>	<p>各種団体、 住民、等</p>
<p>農業、食品加工、高齢者福祉、子育て、交通など各分野の取組みにおいて、地域資源を有効活用したコミュニティビジネスの立上げについて検討します。 【活動例】 ・コミュニティビジネスに関する勉強会の開催</p>	

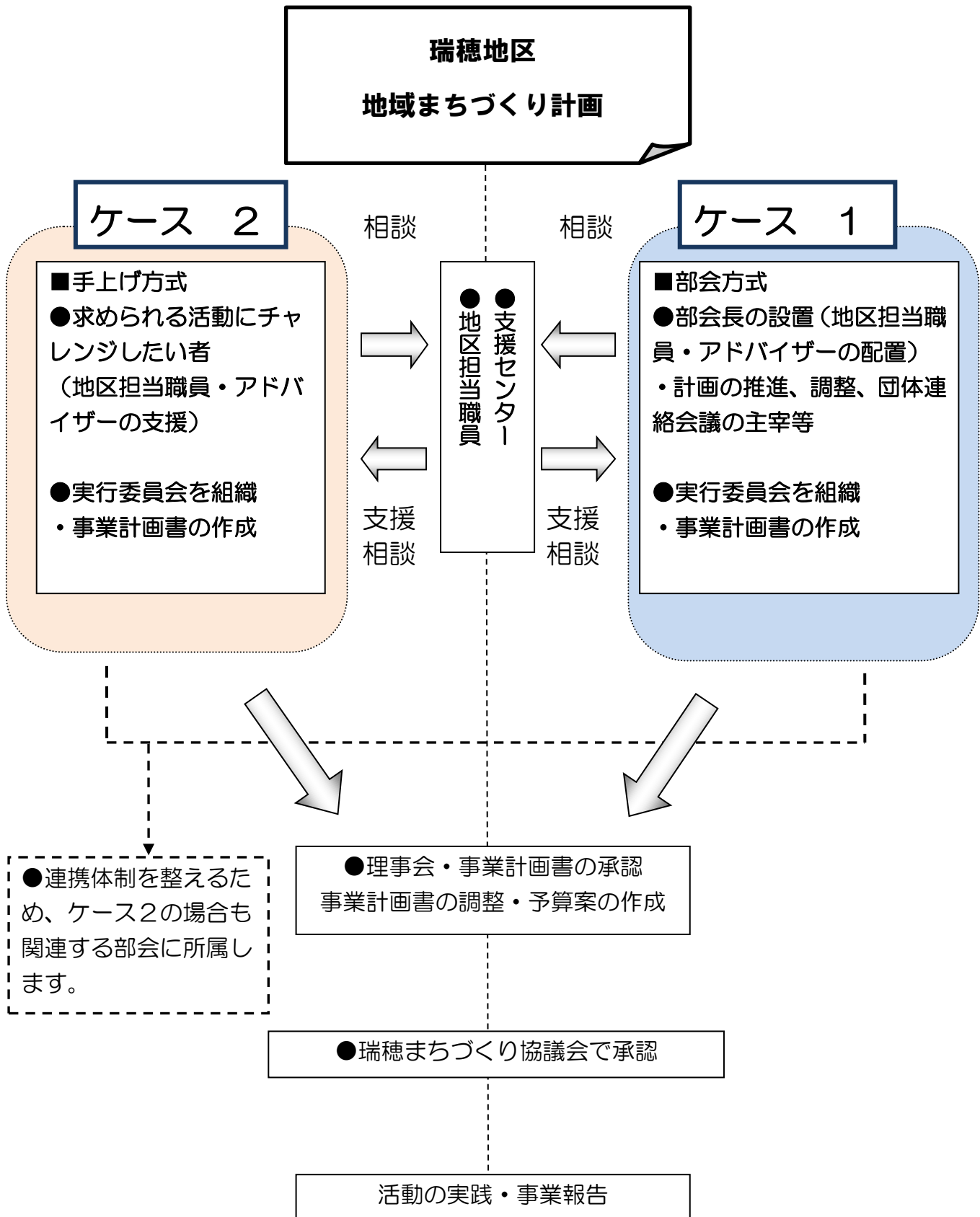
2 推進体制

瑞穂まちづくり協議会は、地域の課題解決のために、地区内の住民や各種団体が話し合い、調整、実践していく場として位置づけ、住民や各種団体等が互いの持ち味を活かしながら、横につながり合い、将来像や活動目標の実現に向けて、協働で計画を推進していきます。

■瑞穂まちづくり協議会の組織構成図



地域まちづくり計画実践の流れ（イメージ）



おすびに

平成18年3月の合併により、香取市の行政区域は拡大しましたが、各地区においては、自治会や各種団体が主体となり、まちづくりに取り組んできた地域性があります。

まちづくり協議会は、それらの地域性を尊重し、住民の皆さんが自発的に地域の課題に取り組むことができる仕組みです。

住民アンケートでの回答の中には、災害時どう対応したらいいのかわからない、一人暮らし高齢者の生活が心配、通学路が危険、ゴミのポイ捨てが目立つなど、住民の方々から地域の課題について多くの意見をいただきました。

これらを地域の課題として捉え、瑞穂地区一体となって考え、行動し、また行政と役割分担しながら連携・協力して地域課題を解決したり、地域の明るい将来を実現させるのがまちづくり協議会です。

『瑞穂まちづくり協議会』は、本計画書に基づき、瑞穂地区の目指す将来像の実現に向けて、住民どうしの絆を深め、皆さんの知恵と力をお借りしながら、今後の活動を進めたいと思いますので、住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

設立準備会



設立準備会



設立総会



設立総会



理事会



地区別まちづくり座談会



資 料 編

目 次

- 1 地域まちづくり計画策定経過・・・・・・・・・・ 1
- 2 地域まちづくり計画策定手順・・・・・・・・・・ 2
- 3 地区別まちづくり座談会開催資料・・・・・・・・ 5
- 4 住民アンケート調査実施資料・・・・・・・・・・ 8
- 5 住民アンケート調査結果（自由意見）・・・・ 14

瑞穂まちづくり協議会 地域まちづくり計画策定経過

期 日	会 議 名 等	内 容 等
24年 11月18日	24年度 第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり計画の策定について ・24年度事業計画・収支予算(案)について
11月～ 12月	住民まちづくり アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞穂地区内の全世帯を対象に、地区の課題や今後、取り組むべき内容等に関するアンケート調査を各区長の協力のもと実施
25年 1月	住民アンケート調査 結果の集計・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアンケート調査結果を集計するとともに、回答結果を分析
1月17日	地区担当職員連絡 会議	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定スケジュール、まちづくり座談会の開催方法等について打合せ
1月20日	地区別まちづくり 座談会(東部地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題、将来像及び協議会活動の方向性等について、瑞穂地区を2つのグループに分けて、ワークショップ形式で意見交換を実施
1月27日	地区別まちづくり 座談会(西部地区)	
2月17日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、まちづくり座談会の結果報告 ・地区の課題、協議会の基本理念、活動方針、主な取り組み等について協議
2月下旬	協議会だより臨時号 (各戸配布)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果等計画策定状況について地域住民へお知らせ
4月20日	25年度 第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの全体テーマについて ・25年度事業について ・部会の設置等推進体制について ・地域まちづくり計画(案)の協議 ・その他総会提出議案に係る協議

地域まちづくり計画策定までの流れ（案）

「地域まちづくり計画」とは

- ・香取市まちづくり条例第9条に位置づけられる計画
- ・まちづくり協議会は、これに沿って毎年度の実施事業を計画し具体的な活動を行うこととなる。

〇〇地区まちづくり計画書（標準的イメージ）

第1章 はじめに

- ①計画策定の趣旨
- ②計画期間 等

第2章 〇〇地区は、こんな地域

- ①地域の現況・課題
- ②アンケート調査結果 等

第3章 こんな地域になったらいいね！

- ①地域の将来像
- ②まちづくりの基本方針 等

第4章 こんな地域にしていこう！（こうやって取り組んでいこう！）

- ①活動目標（テーマ）
- ②取組み（活動）内容
- ③取組み（活動推進）体制 等

資料編 策定経過、住民アンケート調査の自由意見 等

- ・計画期間は、概ね10年間に設定。5年後、必要に応じて見直し行う。
- ・具体的には、毎年策定する各年度の事業計画及び予算において実施内容などを示していく。

「計画策定までの手順」

●理事会で地域まちづくり計画（案）を策定

計画（案）は、理事会で策定し、総会で承認を得ることを基本として、以下の手順で策定作業を進める。

1 住民まちづくりアンケート調査の実施 【11月～12月】

地域の現状、課題及び将来像などについて、住民の意見を聴く。

※実施要領（案）については、別紙1のとおり

2 地区別まちづくり座談会の開催 【1月】

- 各地区の協議会委員のほか、地域住民の積極的な参加を募り、各地区の課題や改善点、将来像及び協議会活動の方向性等について意見交換を行うとともに、改めて、協議会活動への協力・支援を求める。
- 実施要領（案）については、別紙2のとおり

3 「地域まちづくり計画」（案）の作成【2月～4月】

(1) 「基本方針」及び「主な取組み」を決定する。

アンケート調査及び座談会などにより把握した地区の現状や課題、将来のあり方等に関する意見を参考に基本方針や主な取組みを決定する。

(2) 実施事業を決定する。

- 基本方針等に沿った具体的な実施事業について検討する。
- 計画スケジュールや役割分担を決める。

(3) 事業推進体制を決定する。

実施事業を推進するための部会の設置及び部会員の構成を決定する。

(4) 計画案のとりまとめ

以上の作業を通じて、計画（案）の取りまとめを行う。

取りまとめに際しては、必要に応じ団体等のヒアリング、調整等を行う。

4 平成25年度定期総会の開催 【5月中旬】

地域まちづくり計画（案）を25年度定期総会に提案し、承認を求める。

☆計画策定のご検討をいただいた方々
(平成24年度まちづくり協議会役員)

役職	氏名	所属団体等
会長	根本 勝雄	区長会 会長 (寺内芝自治会 会長)
副会長	稲葉 孝洋	地区社会福祉協議会 会長
	飯島 健	地区社会福祉協議会 副会長
事務局長	鴫崎 清治	区長会 副会長 (鴫崎区 区長)
会計	鴫崎 泰弘	区長会 会計 (西和田区 区長)
監査	鈴木 定夫	地区社会福祉協議会 会計
	木内 操	交通安全協会 瑞穂支部長 (堀之内農地・水・環境保全協議会 代表)
理事	村田 孝夫	堀之内区 区長
	斉藤 芳男	谷中区 区長
	氷室 喜一	寺内区 区長
	藤田 仁一	西坂区 区長
	米本 邦夫	西部田区 区長
	相山 利長	みずほ台自治会 会長
	飯嶋 昇	民生委員・児童委員協議会 会長
	佐藤久美子	民生委員・児童委員
	伊藤はつ子	主任児童委員
	木内 素美	母子福祉協力員 代表
	鴫崎みどり	母子福祉協力員
	福迫 勝弘	青少年相談員 佐原支部五中支会瑞穂分会長
	高木 京子	瑞穂小学校PTA 会長
	細川 正雄	香取市消防団佐原第1支団 副支団長
	高木 一男	みずほ台自治会防犯パトロール隊 代表
栗林 利男	農業委員 (西和田環境保全会 代表)	

<敬称略>

※ワークショップの開催にあたって

本日の座談会は、ワークショップ形式で開催します。

ワークショップでは、「参加者同士が創造的な発言を自由に行って意見交換をし、立場や意見の違いを相互に理解し合う中で、問題を解決するための合意形成を図っていくこと」に重点が置かれています。

このため、共通ルールとして、以下の基本原則に則って会議を進めます。

- 1) 禁止事項の3原則 — 「非難なし」、「肩書きなし」、「文句なし」 —
「非難なし」・・・意見を出し合う場面において、人の発言への非難を禁止
「肩書きなし」・・・参加者の肩書きは、意識しない。
「文句なし」・・・グチよりも課題解決に向けた話し合いを
- 2) 班編成 — 全員が発言できるよう少人数の班を編成します —
全員が発言できるよう参加者を8名程度の班に分けます。
- 3) 司会進行 — 各班の司会が議事を進めます —
司会者は、地区担当職員、又は支援センター職員が務めます。
司会者は、参加者の発言機会が均等に与えられ、それぞれの発言が平等に扱われるよう議事を進めます。
- 4) テーマごとに話し合い — 和やかな雰囲気の中で話し合います —
地域の課題や将来像、今後の取り組むべき活動等について、それぞれの参加者の年齢や社会的立場にとらわれることなく、対等な関係で話し合います。
- 5) 意見を出し合い、グループ化 — できる限り多くの（率直な）意見を —
できる限り多くの意見をいただくため、個人で考える時間を設定します。
フセン紙に各自の意見・提案などを書き込んだうえで、発言してもらいます。
また、そのフセン紙を模造紙に貼り、グループ化の作業をします。孤立した意見や対立する意見が出た場合でも、貴重な意見として尊重します。
- 6) 最後に、各班の話合いの結果を発表 — 全員の共通理解を図ります —
参加者全員の共通理解を図るため、各班で話し合われた内容について、各班3分程度で発表します。

座談会の具体的な進行方法について

- 本日、開催するまちづくり座談会は、会議形式ではなく、グループになり、下記のテーマについて、自由に意見を出し合い、記録係（市職員）が模造紙に書き出しながら、意見等を取りまとめ、最後に発表していただきます。
- 意見が出やすいように、1グループ10名前後に分かれて検討を行います。
- 参加にあたっては、自主性（自発性）を存分に発揮しましょう！
- 参加者相互の立場を尊重し合いましょう（他人の意見を非難はしない）！
- 今回の座談会は、市の職員により進行させていただきます。

テーマ1：地域の現状・課題について（約30分）

（1）“気になる現状”は？[地域の悪いところ、困っているところ]

“住んでいて、ここが気になる、心配だ、改善してもらいたい・・・と思うことは？”

⇒【将来像】“放って置いたらこんなまちになってしまうかも？”

（2）“好ましい現状”は？[地域の良いところ・このまま継続したいところ]

“住んでいて、ここが良いところだ、強みだ・・・と思うことは？”

・地域の現状について、日頃から抱いている実感や思いなど、意見を出し合います。

■気になる現状は？（例）

地域活動に関わろうとする人が
年々少なくなっている

■好ましい現状は？（例）

各団体の活動が旺盛で、地
域に活性化されている

【主な検討分野】

- ① 安心・安全（防災、防犯、交通事故防止・・・）
- ② 高齢者福祉、生涯学習、健康づくり、子育て、教育・・・

- ③ 住民交流、世代間交流、地域コミュニティ・・・
- ④ 生活環境、交通、文化・歴史、その他・・・

**テーマ2：「今後、地域で取り組むべき活動等について」
(約30分)**

[今後、自分たちでやってみたい(やるべき)と思うこと] &

[誰かにやってもらいたいこと、続けてもらいたい活動・・・など]

- ・地域の“気になる現状”(課題)解決のために必要な活動は？
- ・地域の“好ましい現状”をさらに伸ばすために必要な活動は？
 - ・現在の活動を基に、続けて(発展させて)もらいたいことは？

・テーマ1「地域の現状について」を踏まえ、今後、地域においてどんな取組みや活動が必要かについて具体的な意見を出し合います。

■具体的な活動内容・取組み(例)

災害の時など、地域で助け合うことができる体制づくりを地区全体で検討する

子どもや老人などを地域住民で見守る体制をつくる

グラウンドゴルフ大会など子どもから高齢者まで参加できるようなイベントを開催するなど、世代間交流を深める。

PTAだけでなく、地域の人々の参加もお願いして、通学時の子どもの見守り活動を強化する

通学路の清掃や草刈りなど、もっと地域での環境美化活動を充実させる。

※8時30分を目途に、各班の発表時間とするため、それまでに話し合いを終了してください。

※「地域の現状」、「今後取り組むべき内容」について話し合った概要を発表する。(各班3分程度)

～暮らしやすく、愛着の持てるふるさとづくりを目指して～

瑞穂まちづくり住民アンケート調査

協力をお願いします！

今年5月、香取市まちづくり条例に基づき、区長会をはじめ各種団体の横断的な連携・情報交換を図り、地域の様々な課題を解決する「瑞穂まちづくり協議会」を設置しました。

協議会では、「瑞穂地域まちづくり計画」を策定し、その目標に向かって様々な活動を展開していこうと考えています。

つきましては、「瑞穂地域まちづくり計画」を作成するにあたり、瑞穂地区にお住まいの皆さんの意見を大切に、反映させるため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、以下の点に、気をつけていただき、ご協力をよろしくをお願いします。

◇ご記入にあたってのお願い

■今回、各世帯へ2部ずつ調査票を配布いたしますので、高校生以上の世帯員2名の調査票記入をお願いします。

なお、単身世帯の方は、調査票1枚のみの記入をお願いします。

■この調査票は、 月 日（ ）以降に各区長、又は地区役員等が回収しますので、そのときにご提出いただくか、又は、各自で各区長、又は区役員宅まで持参してください。

【問い合わせ先】香取市佐原市民活動支援センター
担当 浅野、大竹 ☎50-1213

瑞穂まちづくり協議会

アンケートをご回答いただくにあたって・・・

- ・選択方式の場合は、該当する欄の数字のところを、○でお囲みください。
- ・「複数回答可」の欄は、該当する欄のすべてを、○でお囲みください。
- ・() 欄は、記述になっていますので、それぞれのお考えなどをご記入ください。
- ・アンケートの設問内容がわからなかったり、難しいところがあれば、わかる範囲でご回答ください。(むやみに○を入れず、無回答にしてください。)

問1 お住まいの地区は、どこですか？

- 1 : 堀之内 2 : 谷中 3 : 寺内 4 : 寺内芝 5 : 鴫崎
6 : 西和田 7 : 西坂 8 : 西部田 9 : みずほ台

問2 性別は、どちらですか？

- 1 : 男 2 : 女

問3 あなたの年齢は、満何歳ですか？

- 1 : 15～18歳 2 : 19～29歳 3 : 30～49歳
4 : 50～64歳 5 : 65～74歳 6 : 75歳以上

問4 同居の家族は、あなたを含めて何人ですか？

- 1 : 1人 2 : 2人 3 : 3人以上

問5 瑞穂地区に住んでいる理由は、何ですか？

- 1 : 生まれも育ちも瑞穂地区(若い頃に一時的に他地域に住んでいた人も含む。)
2 : 結婚した相手が瑞穂地区出身者だった。
3 : 新たな居住地として、瑞穂地区に住んでいる。
4 : その他()

問6 瑞穂地区は、住みやすい地域だと思いますか？

- 1：思う
- 2：思わない
- 3：わからない

問7 瑞穂地区の治安は良いと思いますか？

- 1：良いと思う
- 2：以前と比べると、悪化していると思う
- 3：わからない

問8 これからも瑞穂地区に住み続けたいと思いますか？

- 1：ずっと住んでいたい
- 2：当面は住みたい
- 3：いずれは他地域に移りたい(理由：)
- 4：わからない

問9 自分の子や孫にも将来瑞穂地区に住んでほしいと思いますか？

(お子さんがいらっしゃらない場合は、いると想定してお答えください)

- 1：ずっと住んでほしい
- 2：他地域に住んでもよい
- 3：若いうちは他地域でも構わないが、いずれは住んでほしい
- 4：わからない

問10 瑞穂地区の将来を考えるうえで、重視すべきことは何ですか？

(複数回答可)

- 1：近所や地域のつきあい・助け合い
- 2：個人のプライバシー
- 3：青少年の健全育成
- 4：子どもの安心・安全の確保
- 5：子育て支援活動の充実

次ページへ続く

- 6：高齢者の生きがいや健康づくり
- 7：祭りやイベント、スポーツ等を通じた地区住民の交流
- 8：住民の健康維持や介護予防のための取組み
- 9：地域の清掃活動、ごみのポイ捨て解消などによる生活環境の改善
- 10：田園景観、水辺や緑などの自然環境の保全
- 11：震災、水害、火災などに対する防災対策
- 12：治安維持のための防犯対策・防犯活動
- 13：歴史や文化の保存・継承
- 14：農業後継者の育成（農業の振興）
- 15：雇用の場の確保
- 16：通院や買い物など“生活の足”の確保（バスなどの公共交通の充実）
- 17：地域を担う人材の育成
- 18：ボランティア活動の推進
- 19：その他（ ）

問11 少子化は、瑞穂地区においては深刻な問題です。

そんな中で、地域で、できることは何だと思えますか？（複数回答可）

- 1：若者が地域に定着できるよう、魅力ある地域づくりを行う
- 2：子ども時代に地域の自然の中で遊び、学ぶことにより、地域への愛着心を育む
- 3：祭りなどの地域行事を通じた地域住民のコミュニケーションを充実させ、人と人とのつながりを大切にしたい地域づくりを行う
- 4：地域全体で瑞穂地区の子供たちを育て、見守り、子育てがしやすい環境づくりを行う
- 5：少子化対策は全国的に行われていても解決に至っていない難しい問題であるので、地域でできることはない
- 6：わからない
- 7：その他（ ）

問12 地区の安全対策として、地域で行えば良いと思うことは何ですか？

（複数回答可）

- 1：子どもの通学の際の見守り活動
- 2：高齢者世帯の健康確認を含めた見守り活動
- 3：災害時における要援護者の把握と援護体制づくり

次ページへ続く

- 4：地区全体で毎年、防災訓練を行い、地震などの自然災害や火事などに備える
- 5：高齢者を対象にした交通安全教室や防犯教室の開催による意識啓発
- 6：安全・安心対策は各自で行うことであり、地域が行うことではない
- 7：その他（ ）

問13 高齢者福祉に関することで、地区にあったらいいと思うサービス(事業)はありますか？ (複数回答可)

- 1：高齢者などを対象にした昼間の見守り活動
- 2：趣味の活動の場など、多くの方とふれあえる機会の提供
- 3：好きなときに集まり、交流ができる(交流サロンなど)の開設
- 4：健康維持や介護予防のための健康教室の開催
- 5：病院や買い物などへの送迎サービス
- 6：高齢者と同居していないので、わからない
- 7：その他（ ）

問14 まちづくりというと、どのようなイメージがありますか？

- 1：行政が主体的に進めるもの
- 2：一部の人たちが行っているもの
- 3：住民が主体的に行うもの
- 4：住民と行政が協働で行うもの
- 5：わからない

問15 これからのまちづくりには、住民参加が不可欠だと思いますが、あなたは、どのようにお考えですか？

- 1：何事にも積極的に参加したい
- 2：内容や頻度等によっては、積極的に参加したい
- 3：頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい。
- 4：関心がない
- 5：わからない
- 6：その他（ ）

問16 あなたは、「瑞穂まちづくり協議会」が設立されたことを知っていましたか？

1：知っていた

2：知らなかった

問17 地区で解決することが必要と思われることについて、具体的なご意見やアイデアがございましたら、ご記入ください。

●地区で解決したほうがよいと思われる課題など

●地区の課題を解決するためのアイデア・意見等

(例：瑞穂地区住民相互の親睦を深めるため、地区運動会を開催する など)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。今後の「瑞穂まちづくり協議会」の活動に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

瑞穂まちづくり住民アンケート調査 自由意見

防 災

平成24年12月実施

- ・体育館が避難所になっているが、みずほふれあいセンターを避難所にしてほしい。(空調設備もある)
- ・地区の災害対策として、避難場所の確保です。(みずほふれあいセンターなど)
- ・高齢者が寒い中で体育館で避難している状況を見るにつけ、近くて空調設備もあるみずほふれあいセンターを避難所に位置付けてほしい
- ・みずほふれあいセンターを防災拠点に位置付けお願い
- ・災害時ふれあいセンターを避難場所にしてほしい
- ・ふれあいセンターを避難場所にして下さい
- ・みずほふれあいセンターを避難所としてほしい。それと、だれでもいつでも使える所にしてほしい
- ・町内の近くにある瑞穂ふれあいセンターを災害の避難所や防犯、情報、連絡等の施設として利用することが良いと思う
- ・ふれあいセンターを防災拠点として地域防災活動を進めていく。(特に避難所として)
- ・防災対策が足りないと思われるので、学校、みずほふれあいセンターなど今ある、使える所を活用して防災の充実を図っていくと良い
- ・避難所などの地域防災のあり方について検討すべき
- ・震災があり、私は嫁に来たので、地区の避難場所、高台の場所、安全な場所がわからない。利根川も近く、自分の地区が安全なのか不安に思う
- ・災害時の避難場所を明確化する。(地域ごとに地図を作成する。)
- ・災害拠点施設の確保と整備
- ・災害時の迅速な対応策
- ・災害の時のライフラインなど行政で頼れない時、地区でどのように解決するか検討すべき
- ・災害時食事など、地域の人と協力し合えるか、一人暮らしの人や、高齢の人をどのように救助できるか防災訓練などをもう少しひんぱんに話し合い訓練を

行うべき

- 老人宅を回り、傾きそうな家具の固定や保存水や食料の備蓄ができているか具体的に見て歩き、アドバイス（購入代行）してあげる
 - 災害で水槽が使えなかった時、独居のお年寄りや、高齢者のみの世帯の方は、給水所から重いタンクを運ぶのが大変ではなかったか。災害時の高齢者世帯に協力できることがあれば協力していきたい
 - 独居老人の避難時の手助けする人を近所で決めておく
 - 災害弱者の把握
-
- 消防団員の不足により、災害時の対応を具体的にどのようにするか？
-
- 防災訓練等の実施
 - みずほ台の住民全員で避難訓練をする
 - 地区の中の町内単位で非常食を備蓄し、賞味期限の切れる前に防災訓練を、原則全住民参加の下に行う。訓練終了後、懇親会を兼ねて、賞味期限のためにはねた非常食の試食を行う
 - 急病者の救命処置方法の訓練
-
- 大災害に備えたライフライン（水・カンパン他）の確保
 - 災害に強いまちづくりを実践するため、防災及び防犯、交通安全等に力を入れたふるさとづくりが必要
 - 非常時備蓄品の確保
 - 自主防災組織の設立支援
 - 災害マニュアルの作成
 - 巨大災害発生時の減災の仕組み作り（避難マップ作り・配布等）
-
- いろいろな活動があると思うが、ある程度課題を絞っていくべき。特に、災害時等に対する当地区における対応をどうするかなど
 - 防災、減災に関する住民の意識を高めるための啓発活動

防 犯

- ・ 小学校周辺で不審者情報が頻発している。登下校時に、警察や近所の人の見守りがあると安心できる
- ・ 夜の安全のため、街路灯を増やしてほしい
- ・ 夜間暗い場所へ街灯設置
- ・ 防犯灯の増設
- ・ 地区の防犯面が不安
- ・ 近くに住む人が見守る体制をつくる
- ・ 住民同士で挨拶が自然にできると、悪意のある人は入って来にくい
- ・ 瑞穂地区は良く言えば自然の残る素晴らしい場所だが、まだまだ子供や若者が一人歩きするには不安な場所も多い。樹木の整備や外灯の設置等、安全面での解決する問題はたくさんある。自分の家に小さい子供がいなくても、他の家の子供に関心を持つなど、地域で見守っていく必要がある
- ・ 公園内のトイレは植木（垣根）が茂み怖い。子供が遊んでいると不安に思うので撤去してほしい。団地に住んでいる人はあまり利用していないのでは
- ・ 警察官の居宅訪問による周知徹底
- ・ 派出所を置く

交通安全

- ・ 交通事故等の防止に取り組んでいただきたい
- ・ 見通しの悪い場所へカーブミラー等設置
- ・ カーブミラー設置等も 他地域よりも見劣りする
- ・ ウォーキングやランニングをしている人たちを見かける。そういう活動は良い事だと思うので、ニュータウン内の街灯や歩道の状態、カーブミラーの設置等、再確認していただき、安全かつ快適に活動できると良い
- ・ 見通しの悪い箇所のカーブミラーが木の枝で隠れているところを改善する
- ・ ミラー方向が違っていると思われるところを修正する
- ・ ニュータウン内の道路は 40 km/毎時走行ということ、他から来た外部乗用車や配送関係の車両にもきちんと掲示する必要がある
- ・ 時速 40 km 走行でも、子供たちの存在に気を配り、もっと速度を落とさない

と危険ということがわかる標識をメイン道路中心に、いくつか設置してほしい。
法定速度等の法律に基づく標識も併せると更に望ましいと思う

- ・(多数) 路上や歩道への駐車が目立ち、安全な環境にない
- ・違法駐車(常態化した路上駐車)
- ・(高校生からの意見) 私は自転車を利用することが多いが、走っていると歩道の場所に車を何台も駐車しているのが目に入る。カーブのところなどに置いてあると、先に車が来るとひやっとする。おそらく、子どもたちもそこを通るとき、車道へと出てしまっていると思う。可能ならば、空き地などに駐車場などを設けると良いと思う
- ・車通りの多い場所の歩道の障害物等の排除
- ・路上駐車が目立つ。夜は特に多い。駐禁の札などを貼って強くやってほしい
- ・交通危険個所の把握
- ・交通・防犯パトロールの実施
- ・車の通行の譲り合いなど、交通ルールを守らない住民が少なくない
- ・早急に道路の舗装をお願いしたい。子どもたちが走りまわったりして地面の割れ目につまずいて転んだりしている
- ・歩道から道路に出てくる安全を確保してほしい

環境美化・保全

- ・ごみのポイ捨てが最近目立つので、きれいで住みやすい環境にしてほしい
- ・ちゃんとゴミ袋を縛らないで出すなど、ゴミだしのルールが守られていない
- ・ゴミがポイ捨てされるのも増えた
- ・場所にもよりますが、時折ゴミを回収する際のマナーの悪さが目につく。巡回などの対策をお願いしたい
- ・必ず首輪をして散歩する
- ・猫の糞の始末を徹底してほしい
- ・繰り返し、広報などでペット飼育マナー遵守の啓発を行う

- ・犬や猫を飼ってる人のマナーの悪さ
- ・飼い犬の無駄吠えや飼い猫の放し飼いによる被害（直接当事者に言いづらい
ため、夜勤でも、眠れないまま出勤しなければならない、健康上の被害を受け
ている）

- ・深夜バイクの音がうるさい時がある
- ・ポンプの騒音（川から田んぼへの水の汲み上げ）が約6時間も続く、夜間1
1時頃までの時もある。とても体が肉体的、精神的にもたない。老人子供など
は特に影響を受ける。必要な時に窓も開けられない。テレビなども落ち着いて
見てられない。住居から可能な限りポンプを離すとか、ミカン箱、ダンボール
など空気が入るようにして被せる工夫をして防音対策をするなど、常識と思い
やりをもって対処してほしい

- ・みずほ台団地への道路の並木がみずぼらしい。桜でなくても元気な木が育て
ばいいのでは？

- ・フリーマーケットなど不用品の交換など

- ・瑞穂地区のシンボルとして、地区の中央に位置する鴫崎地区、鴫崎砦に続く
山林、アズマネザサに覆われた里山への「いのちの森づくり」を実施してはど
うか？（参照「森の長城」が日本を救う。宮脇昭著。インターネットHP「森の
長城プロジェクト」）

- ・白鳥の餌付けによる観光資源化を図る。近年、八間川周辺水田に白鳥が時に
は100羽以上飛来が観測される。環境のバロメーターであり、瑞穂地区とし
て愛護会を作り、毎年定着させるようにしてほしい。

- ・大須賀川（派川を含む。）、三区用水の通年通水による、防火、環境保全、生
物多様性の確保を図る

- ・大須賀川の堤防に、昔からの植物を植栽し、観光資源化を図る。「大須賀川フ
ラワーカナル事業」の推進を図る。

高齢者福祉

- 高齢者の交流サロンに母子も参加できるとよい。核家族世帯も多く、お年寄り
りと接する機会も少ないので・・
 - 人は期待されるとうれしいものだから、働く（軽作業）場所の提供
 - 高齢者の気軽に利用できる施設を作り、地域で運営する
 - （例）小規模リサイクルショップなどを作り、お年寄りに店番をしてもらい、
お年寄りが多く集まり、交流を図るなど
 - 高齢者集いの場が必要。歩いて行ける距離
 - 団地内の年寄り方にボランティアとして団地内の清掃美化などに参加して
もらうことにより健康維持、交流に役立てると良い
- ・この地域には老人クラブがない。老人の方々が楽しく過ごせるまちになれば
よいと思う。
- 地域に老人ホームを発足させてください。協議会会長には老人クラブの会長
になっていただきたい
 - 昼間の見守り活動は、独居老人に対しては必要かと思う。
 - 現在行われているミニディサービスの支援、掘り起し。閉じこもりがちな独
居、高齢者世帯への声かけなどを行う
 - デイサービスが充実している今日、地区には（高齢者福祉サービス）は必要
ないかと・・・・・
 - 車を運転できなくなったら、その後の生活に不安を感じる
 - 高齢者の為にもスーパーなど買物、生活を第一に考えて欲しい
 - 高齢者の買い物、通院への援助
 - 自家用車を運転しない人達の買い物、通院等が容易にできるシステム。（今は
自分で運転して移動ができるが、高齢になったら安心してみずほ台で生活して
いけるのか心配）
 - 病院や買い物などへの送迎サービスについては、タクシー会社と契約して、
高齢者や障害者が低料金（又は定額）で利用できるようにする。
- ・高齢者とは65歳以上のことをいうらしいが、中には体の丈夫でない60才

もいるかもしれないので、60才から援助してもらってもいいように受け皿を大きくしていただきたい

- 高齢者の見守り体制の構築
- 地区に住む高齢者の安否確認
- 老人の孤独化防止

子ども・教育

- 子どもたちの安心、安全の確保
- 子どもの住みやすいまちにする
- 子どもは国の宝、みんなで守る
- 子どもを増やすことが第一
- 少子化で子どもが近所に遊ぶ子が少ない
- 地域全体で家を守る、後継者世代の育成

• 昔は子供がいる人は、子供会に入ることが当たり前であったが、今はそうではない。やはり、みんなで入ることが大切。大人の方達が協力しあって子供たちとふれあうことが大事。子供の頃にやった催しは、今でも忘れる事はない。みんなで協力することの楽しさを学ばせるべきである

• ふるさとを思い出すのは、やはり子どもの頃の遊び、お祭り、など子どもたちが中心となるような行事を行うべき

• 少子高齢化社会になってきているので、子どもの見守り隊、高齢者の見守り隊をお願いしたい

• 学校行事に積極的に参加して、児童の育成で瑞穂地区に愛着心を持たせる

• 先を考え、小学生と中学生が交流できる場、イベントなどがあると良い

• 大人側からのアクションだけでなく、子供たちが動いて何かの訪問活動など・・・地域の方とのふれあい お手伝いとか？

• 学童保育が各区内にあると良い

• 少人数の子どもを預かり、保育できることを市として支援し、制度として確立する

- 乳幼児とママが集まって情報交換できるサークル活動があると良い。都市部では自治体から紹介されてはいることが多い。
- 長期の休み中就学前の子供を預けられる所がほしい。幼稚園に通う子供は、休み中の預け先に困っているのが現状
- 子供会の存続について
- 子ども会も人数が集まらない。他の地区では、9年制を導入しているところもある
- 通学時間帯に合わせて安全パトロールや散歩など見守り活動をするとうい
- 近くにスーパーがないので子供が病気の時の買い物が大変である。また、少子化に伴う高齢化も見逃せない。できれば子供らの見守りに限らずお年寄りの見守りも意識してほしい
- 瑞穂小学校の存続
- 公園の設置
- 婚活が必要。
- 結婚させること。以前は、仲人するおばさんがいたので、そういう人を育てたらしい。
- 結婚しない若者たちの問題をどうするかが最大の問題。
- 若い人が結婚してここに住みたくなるような地域にするよう絶えず考えてほしい。
- 神崎町が主催している集団見合いを参考に、若者を集め、少子化を防ぐ
- 若者が子育てに対しての認識が足りない。
- 若者が地域に定着できるようもっと職場があればよいと思う。
- まちの外観を整えて、若者の愛しやすいまちにしていく。
- 「若者が地域に定着できるよう、魅力ある地域づくりを行う」ことについては、夫婦共働き可能な保育園等の設置、将来は老人ホーム等の建設も！！
- 子どもたちの勤務先が減少している。就職先がなく市外に出ていくと、人口の減少とともに、戸数も減っていく。一地区で対応が取れるのか？

住民交流・地域コミュニティ

- ・人との交流が少ない。みずほ台以外の住民についてほとんど知らないし、また交流の機会がない。
- ・人と交流が大切だが、交流の場がない。
- ・飲み会などがついてくる集まりは反対だが、健全に運動・スポーツを通じた交流は良いと思う
- ・将来に向けて、住民同士のコミュニケーションが取れる機会の場が必要では。そのために、協議会がまずは中心となっていただければと思う
- ・地域に住む人と信頼関係を深めるためにも、祭りなどのイベントを行い、瑞穂に住むことの魅力を伝えていく
- ・皆が参加できるような集まりをつくる。
- ・イベントの開催（衣食住につながるもの）
- ・月一度の公園朝市、せめて12:00位まではやってくれると行けるよ！！
- ・地区運動会の開催
- ・地区運動会いいと思う
- ・地区運動会の開催は、賛成
- ・地区運動会をする good なアイデアと思う。
- ・他県他市は運動会を行っていることをよく聞く。一つのアイデアと思う。
- ・地区運動会は、楽しそうで親睦が深まると思う
- ・地区運動会などで、親睦は図れないと思う。不耕作の田畑をニュータウンの人や農家の人、新たに住人になった人で、米や作物を農家の人に教わりながら作るなどしたらどう？
- ・以前は、ゴミを持ち帰る公園、桜並木、子供会の活動など、他人に話したくなるみずほ台の環境でした。近頃は、昼間ほとんど歩いている方もいないし、路上駐車も多いし、公園もゴミだらけ、並木もバッサリ切ってしまうたり・・・少し残念な気分・・・
- ・以前行っていた瑞穂ふれあいフェスティバル（文化・スポーツ）交流会を再度、地域全体で行っていただきたい。企画・運営等の会議を各地区で行えば、その場で地区の問題点が発見され、目的がはっきりすると思う

- 夏祭りを瑞穂地区全体で（合同）行ったらどうか？
- 地区全体のお祭りを開催して、もっと盛り上げて欲しいと思う。
- お祭りの内容をもっと充実したものにする（お金をかけないで出来るものゲームとか、幅広い年代の方が参加出来るもの）
- 囲碁、将棋サロンの開設、大会等の開催
- 盆栽、植木の手入れ等の講習会の開催
- ゴルフ大会の開催
- 夏は盆踊り大会、冬はカラオケ大会等の開催
- 夏祭り ・ウォーキング大会（地区全体を歩く会）
- 近くの公園などで、子供から高齢者まで気軽に自由参加出来る、ラジオ体操とか太極拳のようなものを開催してもらえたらよい
- 中央公園でラジオ体操をする。
- 瑞穂地区全住民が参加できる、その地区で採れた野菜を料理して、トーナメント形式で他の地区の料理と競うイベントを開催する。
- 月に一度くらい、園芸、カラオケ、手芸、絵画などをコミュニティセンターで行って親睦を深める（先生は特別用意することもなく、できる人がいれば教え合うこと）
- 地区の交流を深めるために住民が参加できる小学校の行事を多くする
- 住民間の交流がないので、年1回の親睦会があったらよいのでは
- 小学校の運動会には地区住民が参加出来る種目数々取入れてもらう。又、マラソン大会等も住民が参加出来るような大会にしてほしい。夏祭り等も良いのでは
- 他のまちづくり地区協議会と連絡を取り合い、他地区ではどうしているか参考にする。
- 都市住民との交流（子育て世代の農業体験）
- 地域の連帯感を深めるスポーツ大会等
- 餅つきを独自で行う。
- 皆が集まれるような催しが必要かと思う。今は、みずほ台の中でも交流がそれほどあるとは思わない。そんな中で近隣地区との交流は難しいように思う。

・みずほ台は、“共働き世帯（パート含む）”が多く、住民相互のつながりが薄いと感じる。「大人の女子会」ができる場がほしい。今現在、特に困ったことがなくても、5年後、10年後、・・・どんどん年を取る自分、伴侶、そして両親たち！年にすうかい（具体的には季節ごと 年4回）のペースで、軽い“お茶会”や“食事会（飲み会）”ができる場がみずほ台内にあればいいと思う。コミュニティセンターなどを使う方法もありますが、地区内の飲食店に一部分の場所を貸していただくのもいいかも。その回によって幹事さんを決めて、雑談など気の向くままに数時間（2時間目安）行う。子連れ、男性の参加ももちろんOK

・今、街を挙げて結婚をサポートする「街コン」が流行していますが、「女子コン」もサポートしていただけたら嬉しい。（全額でなくてもいいです。）

雑談で得た情報が案外「いざという時」の大きな力になるかもしれない

・ガーデニング教室を定期的に行う（寄せ植え作り、プランターでガーデニング、庭作りにおける樹種の選び方、植え付け、手入れの方法、・宿根草の育て方、・種まき、さし木の方法、余った苗の交換会とか）。私も協力したい

・コミュニティセンターで子供たちとお菓子作りや高齢者の人に食事を提供したり、地区の人達も協力して行う

・土日の行事が多く、平日の仕事の休日がない。土日の行事は減らしてほしい。

・子ども会やPTA等のイベントが多すぎて参加協力できないことがあるので、イベントの数を減らしたほうが参加率も上がるように思う

・あいさつは積極的にしよう。小学生はきちんと挨拶できている。自治会も積極的に声だし、声かけに努める。声だしは、まちづくりの第1歩！

・家の周囲の掃除をしている方がいる。あいさつ運動でないけれど互いに言葉をかけ合う。

・若い世代が増えてきたので、積極的に近所へ住む高齢者へ声かけし、コミュニケーションをとるようにすれば、普段の生活の不自由なところが見えてくる

と思う。

・先輩、高齢者に対する常識的なマナーができてないように思われる。(あいさつや言葉使い)

・地区が一つにまとまってほしい

・お互いの思いやりの心が欠けてきている

・他人の批判をしたりする人が多い

・個々への思いやりが大切

・無関心さが目立つ。選挙などの投票率の低さや行事への参加者が少ない

・隣近所や地域との交流が疎遠になっている

・地域の人々とのつながりや世代の交流を深め支え合える地域社会を作ろう

・地区コミュニケーションの場をつくる

・地区での交流を図る機会をつくり、ティーサロンをつくる

・地区の各取り組み（自治会など）での公平的取り組み。権利のためには、公平な義務が必要

・地区の人が集まったら、思わぬことやいろいろな話が出て、そう言えば、などなど良い話題があると思う。親睦を深めるため、会合を時々持つと良い

・地区の人たちに連絡網をもっと迅速にお願いしたい。実をいうと、「瑞穂まちづくり協議会」の総会が終わってから回ってきた

・地区の中の町内単位の住民の顔や家族構成等は知っていたほうが良いと思う。

・地区内でありながら部落のような分け方が古くから定着しているので、見直してもいいのではないか

・町内でほとんど交流がない。神社清掃などもほとんどの方が参加しない。住民が協力して何かやるのが難しく感じる

・地域のコミュニケーションの充実を図り、共同意識を高める。

・瑞穂地区で育った方々が地区を離れることなく、いつまでも楽しく暮らせるまちになってほしい

・古来から人々が歴史を刻み、育んできた文化遺産を守るとともに、これを活かした心豊かな、コミュニティやまちづくりが必要

・自治会に入っていない方は、奉仕作業等一切協力なしですんでいる方もいることが課題。何らかの形で協力するような方法はないものか

- ・自治会をもっと充実したものにする

- ・地区長報告会

- ・自治会役員になった際、年 1 回は「瑞穂まちづくり協議会役員」と顔合わせを含め、懇親会を実施し、地区のコミュニケーションを深める

- ・自主的参画ができるシステム作りを望む。消防活動も家にいない人が多いので、高齢者が対応する方法の検討をお願いしたい

- ・共同参加の行事を設定する

- ・地区清掃活動（草刈り・伐採・ごみ拾い）、区全体ごみゼロ運動

- ・草むしりの件、今は地区ごとに場所を決められて行っていたが、自分の家の前は自分でやるのが一番。そうすれば、常にきれいでいられると思うし、集会所や公園などは交代でやるようにする。

- ・清掃作業など、地区の行事不参加者から罰金を取る。

- ・コミュニティセンターの活性化（様々なイベント開催）

- ・昔からある風習などは大切なこともあると思うが、20代から50代までの働く人にとっては、地域との交流もなく、地区の行事はわからないことばかりである。古いことも大事だとは思いますが、改良していくと、若い人たちにも地区では何があるのか伝わるのではないかと思う

- ・おびしゃの簡素化

- ・おびしゃ、おひまじ（三峰様）・・・女性の負担の軽減

- ・公園に設置されている遊具の点検・保守

- ・手作り伝統食づくり

- ・地域内朝市（農協跡地で、自家野菜、加工食品販売等）

- ・有料ボランティアの創設

- ・意見を出し合う場の創設（目安箱）

- ・子供とか高齢者の方が必要としていることを知るアンケートや話合いの場を設ける。また、せっかくコミュニティセンターがあるのだから、自治会を通し

て要望等を伝えられるように目安箱？的な措置をした方が良い。

- ・誰でも思ったことを気軽に伝えることが出来る24時間受け付け可能な投書箱やメールアドレスを設け、意見、アイデア発信の場を広げる。
- ・新旧住民では解決が難しいので、地区を分ける。
- ・みずほ台は他の地区に比べ大きすぎる。(あまりに人口差がある)。瑞穂ニュータウン地区だけでまちづくりをした方がうまくいくのでは。60人と1500人が一つの区はおかしい
- ・みずほ台居住者と地区居住者では全てが違うので、一体でのまちづくりとはいかないのでは？新しく参入した人と古くからの家、歴史、農家、他の仕事全てが条件的に違う

まちづくり協議会

- ・誰もが生涯安心して生活できるよう、健康・福祉等、地域で支え合いができる環境づくりを行うとともに、次代を担う子供たちの健全育成が必要
- ・地区住民に「瑞穂まちづくり協議会」の機関紙の発行を望む
- ・皆様と集まって一人でも多く参加できるように！
- ・地区の課題をまとめ、その課題のうち、自分たちで出来ることと、行政等にお願いすることや、短期のもの長期のものと整理し、具体的な活動を示していく必要がある
- ・各自の意見、要望等を各町内の役員等を通し区長へ申し入れをし、瑞穂地区区長会、まちづくり協議会で対処する。
- ・住人全員が参加する協議会の開催
- ・祭りとか何かやる前に、やるべきことを優先して考えられる人で構成させる
- ・少数意見であっても、なるほどと思われる内容については前向きに耳を傾ける。また、貴重な意見等についてその後のフォローが大切。たとえば、その意見がすぐ様取り上げられなかったとしても必要。そうでなければますます意見を云う人がいなくなってしまう

・協働の推進に際し、職員のボランティア、NPO 等への理解、教育の徹底が成否を決めると思う。

・協議会が市民の上位下達の組織になれば、現社会では受け入れられないものであり、害あっても益なしとなることだろう

・まちづくり協議会の姿勢が重要だが、今回も上意下達、役人のためのまちづくりの感じがある。”

・何をするかでどういう人をお願いするか決まってくる

・役員が私利私欲のための活動をしてほしくない。

・アイデア、意見も大切ですが、これを真面目に受け取る側の真の思いやりのある態度も重要

・瑞穂地区まちづくり協議会も2つの組織（小学校単位では難しい。）で協力しあう方が良いのではないか

・仕事ができる場所がなければ、若い人などは外に出ていってしまい、外よりこの土地の方が良いと思わなければ帰って来ない。農家もほとんど兼業農家なので、仕事の場を設けることも重要である。ビジョンを明確にして取組まないと、まちづくりはできない。

・新生香取市約7年を経過しているが、合併のメリットが市民、とりわけ瑞穂地区に感じられない。合併により、行政の効率化が行われ、一般市民の声が聞き入れられにくくなった。職員が区や自治会、町内会の隅々まで目が届かなくなり、公僕としての意欲が喪失しているように感じる。

・市のまちづくりは、本来、市が行うべきと思うが、まちづくり協議会を多く組織し、市のお金が小さく各地に流れてしまわないか？まちづくりは、若い人を教育する環境を作ること、例えば、大学の誘致などと考える

・市政が合併により組織が雲の上になり、市民に手の届かない組織と化し、区単位への行政対応を小学校区単位の対応とする行政施策とすることになる懸念大である。区組織の上に、中間組織をつくることは、組織の上に組織を作ることと、行政が市民から離れることになるであろうと思う。

- ・現況では予算等の制約があり、デフレ経済での活動は極めて難しい。時期を待つ方が得策

地域活性化

- ・雇用の確保、産業の誘致、地元の雇用促進
- ・豊かな自然環境を保全し、次代に引き継ぐため、山林・道路・河川・農地等の環境整備を進めるとともに、地域の主幹産業である農業の振興を図る
- ・交通網（アクセス）の充実を考えるべき。
- ・生活の足の確保。
- ・退職者の活用
- ・少子化のため、消防団員をシルバー等に移行することを検討すべき
- ・若者の定着を促進することができない環境なので、少しずつでも住みたい地域に変えていかなければ、人口は減少するばかり
- ・まず、この地域に若者が「家を建てる」気になるよう、上下水道（できればガス）道路整備を進め、安心して住める場所としていく必要がある。まず行政主体の取り組みが必要
- ・みずほ台に食品店がないので、農家の方々とも協力して「道の駅」のようなお店をつくり、その場で交流できる所を開設する
- ・自慢できる、誇れるものがこの地区にあると良い。なければ、みんなで作っていかねばならない。
- ・この地区で特化したものを作り、人を呼び寄せる
- ・大都市（東京、千葉等）に地理的に近いので、都市住民との交流を進める上でこの地区の特徴等をインターネット、スマホ等で発信する。
- ・地区で生産される米、牛乳を使いお菓子作りで商品化。
- ・鉄道マニアが良く休日に撮影に来ているので、撮影ポイントをつくったりして、口コミで広める。”
- ・地区で生産などをして、資金を作り、地域の美化などに使う。
- ・農繁期に田仕事の手伝いをしたり、減反等で利用していない田を畑として貸し出す、料金制とし、代わりに農業指導してもらう

・駅を中心とした人のふれあい道路（通勤、通学、散歩道）、自然や四季を感じさせる生活道路を作ってほしい

まちづくり・住民参加

・いいまちづくり、住みやすい、安心・安全なまちづくりは理想で、参加したり、協力したり・・・頭ではわかっているが、毎日、朝から晩までクタクタで・・・自治会や学校の係だけでも負担とってしまう。このうえ、さらにまた係や役まわりがあっても、ため息が出てしまうのも正直なところ

・できることなら積極的に参加したいが、仕事を簡単に休むことが困難なので、そういう者にも寛容な雰囲気だとありがたい

・遠方の親の介護で忙しくて、時間がない

・参加しなければいけないのは分かっているが、仕事等が忙しく、参加している暇がない。

・子どもたちが元気に家の前でかくれんぼや缶けりをしているのを見て、みずほ台に住むことにした。共働きの家もたくさんあるので、近所で助け合い、見守りたいと思う

・環境整備などは、例えば業者に頼んでどうか、または不参加の住民1軒あたり500円を取るとか（不公平にならないように）、共働きや土曜日まで仕事で日曜ぐらいは体を休めたい。協力したくても、体に無理がかかり、翌週の仕事に影響するので、つらい

・時間と体力がいると思うし、堅苦しいことは参加しにくい

・自分が住んでいる地域に対して、もう一度どのようなまちづくりをしていったらよいか、1人1人が考えて、声を上げていくこと。物事に対して、楽な方、簡単な方を選択するのはいいが、将来的なことを考えて行動すべき

・自分には時間がなかなか取れず、地区にも小学生がいなくなってしまう、親同士会うこともなくなってしまう、協力し合えるのか、不安がある。できることは協力していきたいと思う

- 自分に何ができるかわからない
- 自分の関心あるものは参加したい
- 若い世代の人に頑張ってほしい
- 趣旨は賛成だが、高齢のため、参加できるか不安
- 積極的に参加したいが、仕事と家事があるので時間的に今は無理
- 単身世帯では物理的に参加にも限度がある
- 仲間がいれば協力したいと思う

交通

- 買い物や通院等車がないと不便
- 車を運転できなくなったら、その後の生活に不安を感じる
- 通院や買い物など“生活の足”の確保（ますます、高齢化することを考えて）
- 下総神崎駅との交通アクセスの改善
- 土日の交通手段の確保
- バスなどの公共交通の充実
- 高齢者の足となるバスの継続を市に依頼
- バスの本数を増やしてほしい。”
- 西和田地区でも市のバスを通してほしい。（西和田公民館でも一）
- バスも頑張って走行してくれているが、これ以上運休しないようにみんなで利用する。それには、バス走行の時間も知らないでいるので（一度配布してもらったかもしれないが）走行時間や料金表等のお知らせ活動を再度行う
- 交通の面を考えてほしい。移動手段に限りがあり、市街地へ行ったが、帰りのバスがないなど考えると外出できない
- 下総神崎への直通バスが開通してほしい。香取市、神崎町などのしばりや垣根を取り払ってほしい
- 循環バスだけでは足りない。バスも本数が少ない。
- 無料自治会のバス（駅まで）
- 公共交通の充実等の他、地区で乗合タクシーのような手段を曜日、時間等を考慮して具体化する等

その他

- ・通学路の整備（谷中踏切、歩道が危ないので危険）
- ・みずほ台から西坂神社を通る五中への道は狭く安全性に問題を感じる。事故が起こってからでは遅く、早期の道路拡張を望む
- ・生活していくうえで、近くに最低限のものが買える店があること
- ・食料品など購入できる場所がほしい。
- ・子供が歩いていける所にお店がほしい。（コンビニ等）
- ・大企業等の誘致により雇用の確保ができれば、若い世代の確保につながる。
- ・佐原五中周辺の道路や駐車場の整備（通学路含む）
- ・寺内公園の整備、敷地が狭いので、テニスコートなど利用度合いの多い物を設置してはどうか。
- ・将来1000戸も建設可能な保有地があり、鈍速ながらもますます戸数が見込まれるにもかかわらず、スーパーマーケットやその他利便性に欠けている。
- ・団地内にスーパーや診療所などがないと不便。商業用土地はほぼ空地なので広く募集してほしい
- ・病院やスーパーが近くにないのが大変不便。友人の中でも、みずほ台で家を建てることを考えたが、不便なので別地域に決めたという人が多い
- ・ユーティリティーの向上（上下水道の確保、歩道づくり等）
- ・上下水道の市への移管。道路、公園の補修、整備
- ・水道、下水をみずほ台で単独で行っているが、急に上下水道が必要と思っている。現在の設備は老朽化していると思われる。
- ・道路安全対策としてU字溝を設置すること。高齢者と自動車との接触事故が実際にあり、U字溝へ転倒した実例があったが、たまたま軽傷で済んだ。子どもたちが重傷になる事態を防ぐためにも、早急な設置が必要である。《市と地区で対処》
- ・井戸水の水質検査（地下水）
- ・選挙時だけでなく、土日夜の体育館の利用可
- ・地区の代表を議会へ送る。

